



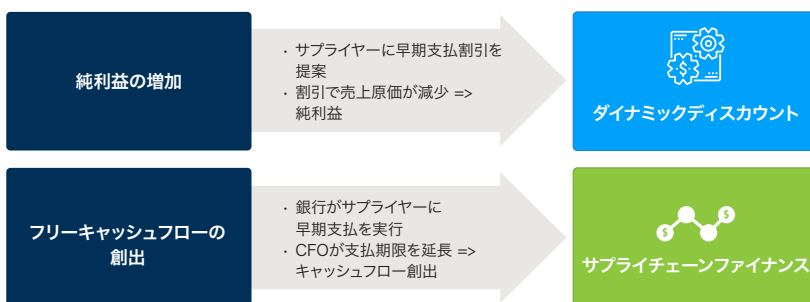
早期支払プログラムを通じた運転資本の最適化

運転資本の最適化は、最終利益とフリーキャッシュフローの創出に取り組むCFOにとって、戦略的な目標です。キリバはCFOに、2つの魅力的なメリットを提供します。運転資本の改善と、純収益の増加です。

2種類の早期支払プログラムを提供

キリバは、財務パフォーマンスを改善するため、ダイナミックディスカウントとサプライチェーンファイナンスを提供しています。

- ダイナミックディスカウントは、サプライヤーから直接割引を受けて売上原価を引き下げます。これにより純利益を増やすと同時に、余剰な流動性資金の利回りを改善します。
- サプライチェーンファイナンス（リバースファクタリング）は、債務の支払期限を延長し、バランスシート上の現金保持期間を延ばして、フリーキャッシュフローを増やします。



サプライチェーンのリスク軽減

買掛債務回転日数 (DPO) を伸ばすため、多くの企業がサプライヤーへの支払延長を余儀なくされています。キリバの運転資本管理ソリューションを通じて、サプライヤーは、割引と引き換えに早期支払を受けたり、自社で調達するより低コストで金融機関から請求額を調達できます。キリバのプラットフォームがサポートする早期支払プログラムを通じて、サプライヤーは運転資本を改善し、生産効率を高めて成長を推進できます。



「プロジェクト開始から3年で、当初の目標を既に上回りました。15,500社を超えるサプライヤーがプラットフォームを利用して、います。2016年12月から2017年12月までに、ファイナンスの依頼が47%以上増えました」

— フランソワ・ベロッド
 (オーシャン社サプライヤーズ
 アドバンスドプラットフォーム担当
 (ASAP) CEO)

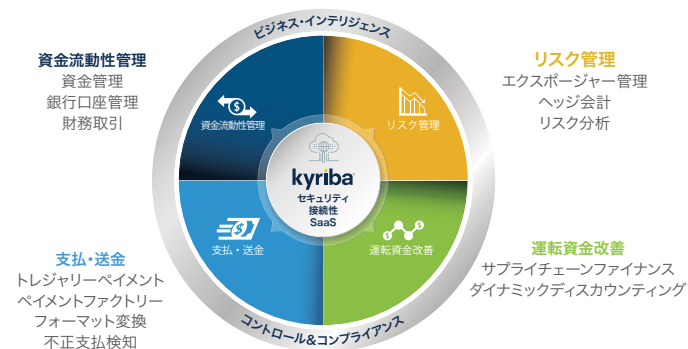
サプライチェーンファイナンスソリューションに求められる要件とは？

グローバルなサプライヤーファイナンスプログラムを成功させるには、次の5つの要件が求められます。

- 1. 専門チーム：**サプライチェーンファイナンスソリューションは、サービスというよりプラットフォームです。ベンダーは、個々のKPI達成、支出分析、投資対効果の確立のため、適切なプログラムの設計を支援する必要があります。
- 2. 多数の銀行が参加するプラットフォーム：**グローバルサプライチェーンに必要な流動性を実現し、地域毎の特性に対応するため、支払債務のファイナンスプログラムには多様な銀行の参加が求められます。
- 3. プログラムの柔軟性：**ダイナミックディスカунティングとサプライチェーンファイナンスをサポートするソリューションには、企業のKPIに合わせて臨機応変にビジネスルールを修正する柔軟性が求められます。
- 4. 完全なワークフロー：**包括的なプログラムには、資金可視化、資金繰り予測、支払、ERP統合などの機能も必要です。
- 5. サプライヤーオンボーディング：**サプライヤーの参加を促すため、相手が選んだ言語で分かりやすいサプライヤーポータルを提供する必要があります。直観的なレポート用ダッシュボードも必要です。

キリバ：シングルプラットフォームに統合

キリバは、CFOが意思決定、分析、パフォーマンス管理に使用できるツールを、単一のクラウドポータル上で提供します。クライアントは、以下を含む総合的な財務プラットフォームを利用できます。



高い柔軟性とスケーラビリティを実現

- 国内外の流動性提供者と接続し、既存の取引銀行を活用するとともに、新たな調達パートナーを紹介します
- ERPと簡単に統合し、完全な流動性・支払ワークフロー、キャッシュプール配分の自動化、請求書決済の効率化を実現します
- 柔軟な構成を通じて、地域別、銀行別、サプライヤー別にビジネスルールを調整します
- 目標設定と成果監視のため、包括的なレポートング、ダッシュボード、分析機能を提供します
- サプライヤーポータルとオンボーディングツールを通じて、サプライヤーの参加を促します

キリバについて

キリバは資金およびリスク管理、支払、運転資金を最適化するソリューションを通じて、財務に関わるリーダーおよびチームを支援しています。安全性の高い100% SaaSエンタープライズプラットフォーム、銀行との優れた接続性、今日の複雑な金融市場における課題に取り組むためにシームレスに統合されたソリューションをキリバは提供しています。キリバを通じて、世界最大規模の組織を含む、何千もの企業が、キーとなるプロセスを合理化し、不正や財務リスクによる損失から企業を守り、意思決定のプロセスを改善し、企業の成長機会を向上させています。サンディエゴに本社を置き、ニューヨーク、パリ、ロンドン、東京、ドバイ、その他主要都市にオフィスを構えています。

詳細についてはwww.kyriba.jpをご参照ください。